

第1章 計画の概要

1 計画策定の目的

本市におきましては、平成21年1月に「宇都宮市小中学校体力向上推進計画」を策定し、「体力増強」、「健康の管理」、「食育の推進」を基本方針とした各種施策を推進してまいりました。また、同年4月には、「学校保健安全法」が施行され、学校における安全管理に関し必要な事項が定められたことから、「防災教育の手引き」や「宇都宮市通学路交通安全プログラム」等を作成し、安全教育を推進してまいりました。これらの取組により、体力の向上や肥満傾向児童生徒の解消、食習慣の改善、安全に係る知識や技能の習得を図り、本市児童生徒の「生涯を通じて健康で安全に生活できる心と体」の育成に努めてきたところです。

このような中、近年、少子高齢化やグローバル化、価値観やライフスタイルの多様化など児童生徒を取り巻く社会情勢が大きく変化していることに加え、自然及び人的な大規模災害の発生も危惧されることから、今後、児童生徒がこれらの変化に的確に対応しながら、心身ともに健康で安全な生活を送ることができる資質・能力を向上させるため、「体力の向上」、「学校保健」、「食育」、「学校安全」の4つの分野の内容をバランスよく総合的に身に付けることがより一層求められています。

こうしたことから、平成29年度には、「宇都宮市小中学校体力向上推進計画」の計画期間終了にあわせて現行計画を見直す中で、「体力の向上」、「学校保健」、「食育」、「学校安全」の4つの分野にわたる教育を一体的に捉え、本市における「健康教育」として整理し、同計画の分野別計画である「宇都宮市学校教育食育推進行動計画」を統合するとともに、「学校安全」を盛り込んだ「宇都宮市学校健康教育推進計画」を新たに策定し、健康教育を推進してまいりました。

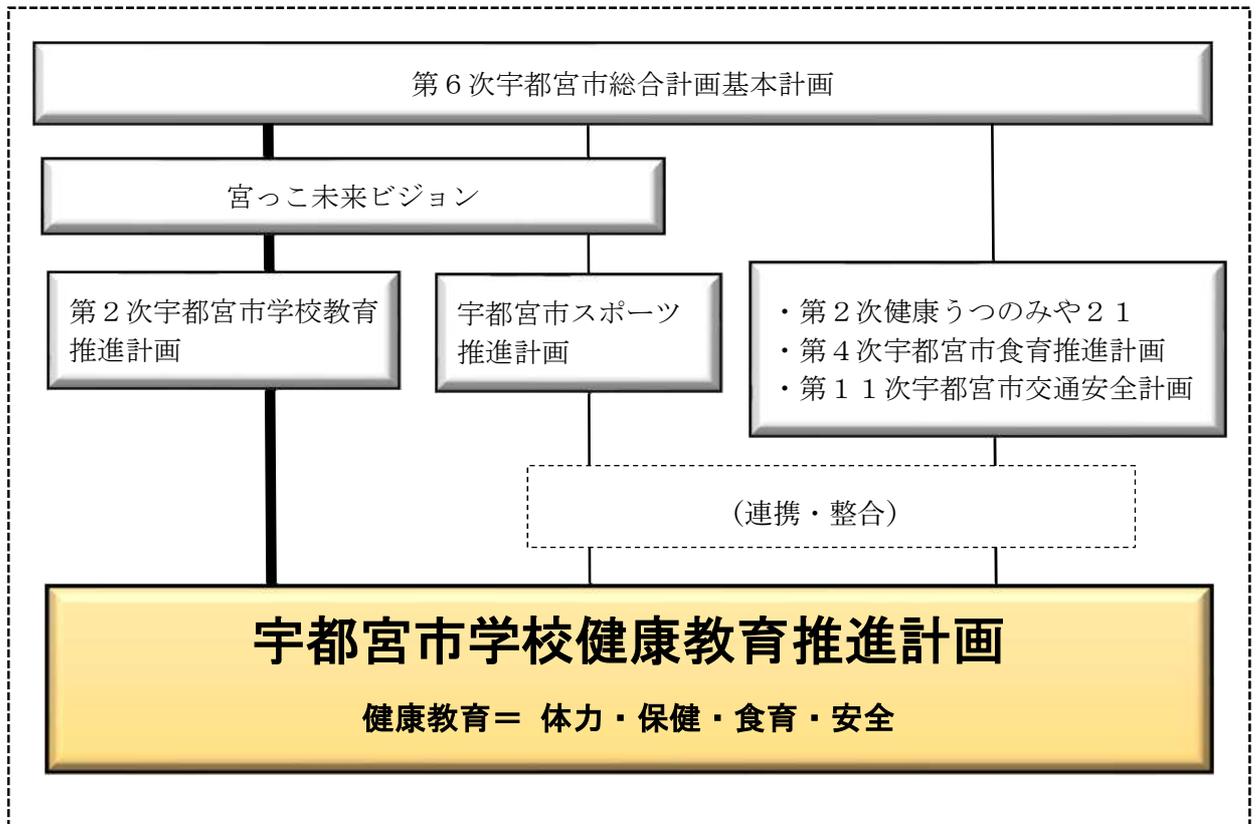
令和4年度には、計画の中間年度である5年目を迎えたことから、これまでの取組を評価してまいりました。計画策定後、情報化社会や新型コロナウイルス感染症の全世界的な拡大など、社会が急速に変化する中、新学習指導要領の全面実施、GIGAスクール構想の実現など、学校教育を取り巻く状況は大きく変化してきていることから、本市が目指す「スーパースマートシティ」を踏まえ、どのように社会や環境が変化しようとも、児童生徒が生涯を通じて健康で安全な生活を送ることができるよう、健康教育に関する正しい知識や技能を身に付け、実践し、健康で安全な社会づくりに貢献することのできる態度を育成していくため、より着実に推進するための見直しを行い、改訂いたしました。

2 計画の位置付け

この計画は、「第2次宇都宮市学校教育推進計画」の基本施策の一つである「健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進」の実施計画（アクションプラン）です。

また、「宇都宮市スポーツ推進計画」の基本施策「子どものスポーツへの興味・関心の高揚」,「第4次宇都宮市食育推進計画」の基本施策「健全な食生活に向けた環境づくりの推進」,「多様な暮らしに対応する食育の推進」と連携した計画です。

SDGsの達成への貢献としては、主に、目標②, 目標③, 目標④, 目標⑤, 目標⑦, 目標⑫, 目標⑬, 目標⑭, 目標⑮の達成に貢献します。



3 計画の対象

この計画は、宇都宮市立の小学校及び中学校における学校教育活動全般を対象とします。

ここでは、学校における健康教育の充実向上に係る家庭、地域等との連携・協力などの内容を含みます。

4 計画の期間

平成30年度（2018年4月）から令和9年度（2028年3月）までの10年間とします。

ただし、計画5年目にあたる令和4年度（2022年）に見直しを行いました。

5 計画の構成

本計画は下図のとおり、第1章から第5章までの5つの章からなっています。

